本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

WORLD TIME

387

使用説明書

387

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特徴、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

ご使用上の注意

防　水　性●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。
- ●20気圧（200M相当、表または裏に20BARまたは200Mと表示）および30気圧（300M相当、表または裏に30BARまたは300Mと表示）防水の場合。水仕事や水泳・水上スキー・スキンダイビング・スキューバダイビング（アクアラング）などで使用できます。
- ●10気圧防水（100M相当）〈表または裏に10BARまたは100Mと表示〉の場合。水仕事や水泳・水上スキー・スキンダイビングなどにお使いいただけますが、専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。
- ●５気圧防水（50M相当）〈表または裏に5BARまたは50Mと表示〉の場合。水仕事、水泳などでご使用になる水準です。スキンダイビング、高とび込み、ウインドサーフィンなどでのご使用はお避けください。
- ●BARまたはM表示のないもの。洗顔や雨などの日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車時などでのご使用はお避けください。
- ●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- ●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- ●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
- ●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
- ●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付きの状態で、水仕事・水泳など直接水がかかるご使用はお避けください。

バ　ン　ド●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

お手入れ●ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
- ●汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

温　　度●直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ・進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。

ショック●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

磁　　気●家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ・進みが生じることがあります。

薬　品　類●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保　　管●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

電池交換について

最初の電池●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
- ※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
- ※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消　　耗●電池が消耗しますと時刻の狂いが目立ったり、止まったりします。
- ●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換●電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
- ●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

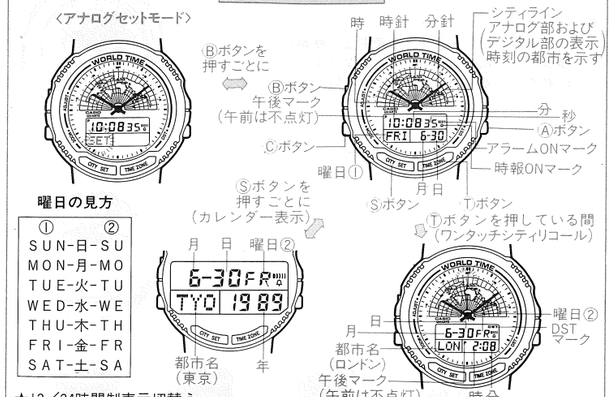
液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

操作のしくみと表示の見方

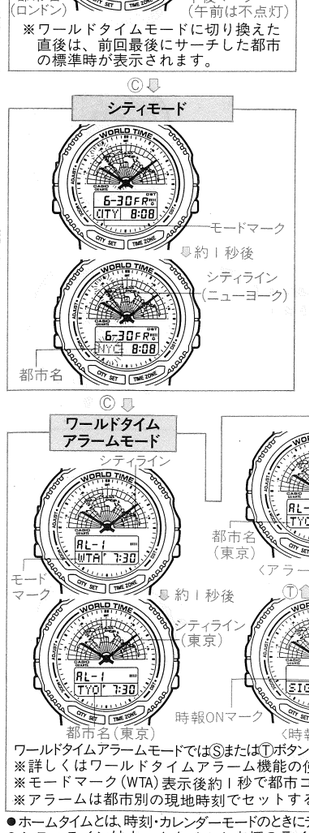
©ボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります。（押すごとに確認音が鳴ります。）
※各モードでその機能を使用した後©ボタンをを押すと直接時刻モードに戻ります。
※表示内容や使い方については各機能の項目をご覧ください。

時刻・カレンダーモード



★12／24時間制表示切替え
時刻表示のときⒶボタンを押すごとに12時間制表示（午前／午後）と24時間制表示（24Hが点灯）とが切り替わります。※カレンダー表示のときは切り替えできません。
※アナログ部は、常にホームタイム時刻を表示しています。

ワールドタイムモード



※ワールドタイムモードに切り換えた直後は、前回最後にサーチした都市の標準時が表示されます。

デジタル部セットモード



ストップウオッチモード

シティモード

タイマーモード

ワールドタイムアラームモード

ワールドタイムアラームモードではⓈまたはⓉボタンを押すごとに⇨の順で表示が切り替わります。
※詳しくはワールドタイムアラーム機能の使い方をご覧ください。
※モードマーク（WTA）表示後約１秒で都市コードを表示します。
※アラームは都市別の現地時刻でセットすることができます。

●ホームタイムとは、時刻・カレンダーモードのときにデジタル部とアナログ部で表示される時刻です。
●シティラインはホームタイムを点灯のライン（線）で表わし、ワールドタイムモードで表示している都市を点滅で表わします。

時刻・カレンダーの合わせ方…操作のしくみにしたがいⒸボタンを押してセットモードにします。（ホームタイム都市の設定）

電池交換などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。まず、アナログ時刻をデジタル時刻に合わせてください。
※この操作を行なうことでアナログ時刻は、以下のデジタル時刻・カレンダー合わせと連動し、自動修正されます。

■アナログ時刻の合わせ方

デジタル部の表示がアナログセットモードのときに合わせます。
分針はデジタル部の秒が０秒、20秒、40秒になったとき1／3分（20秒）ずつ進みます。
デジタル部の表示が時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑボタンを押すとアナログセットモードになります。
(1)Ⓣボタンを押すと1／3分（20秒）ずつ進み、Ⓢボタンを押すと1／3分（20秒）ずつ戻ります。また、押し続けるとそれぞれ早送りができますので、時・分を合わせます。
(2)セットが終わったら、Ⓑボタンを押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。

■デジタル時刻・カレンダーの合わせ方

デジタル部の時刻・カレンダーを合わせるときは、Ⓒボタンを押してデジタル部をセットモード（全表示点滅）にします。

●秒の合わせ方…30秒以内の遅れ・進みの修正

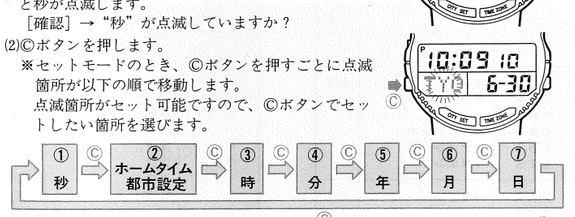
月に１度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。
(1)デジタル部セットモードのときに、Ⓑボタンを押すと秒が点滅します。
［確認］→“秒”が点滅していますか？
(2)時報に合わせて、ⓈまたはⓉボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは１分繰りあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話　117番」が便利です。
(3)Ⓑボタンを押すと、アナログ部も秒合わせを行ない、セットモードに戻り、Ⓒボタンを押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。

■時刻・カレンダーの合わせ方

(1)デジタル部がセットモードのときにⒷボタンを押すと秒が点滅します。
［確認］→“秒”が点滅していますか？
(2)Ⓒボタンを押します。
※セットモードのとき、Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。
点滅箇所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセットしたい箇所を選びます。



※「年」は1985年～2029年までセットできます。
※曜日は年・月・日を合わせれば自動的にセットされます。
(3)点滅箇所がⓉボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓢボタンを押すごとに１つずつ戻ります。また、それぞれ押し続けると早送りができます。

Ⓒボタンでセットしたい箇所を選び、ⓈまたはⓉボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻を合わせてください。注）「時」のセットのとき午前（不点灯）／午後（P）、24時間制（24H）にご注意ください。

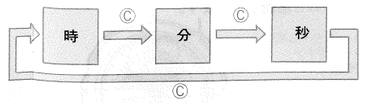
(4)**ホームタイム都市の設定**は「時刻・カレンダー」のときに表示される基本時刻を都市コードで指定します。従って、時刻のセットはその都市について行ないます。
都市コードが点滅しているときにⓈボタンを押すごとに都市コード（同一時差都市）が、Ⓣボタンを押すごとにシティラインが移動します。
※東京（日本）の時刻に合わせるときは、都市コードを「TYO」として時刻セットしてください。
※都市コードと都市名については「ワールドタイムの使い方」の都市コード一覧表を参照してください。
※ホームタイム都市を変更するときは、１度時刻を合わせてあれば都市コードの変更のみで時刻は自動的にセットされます。
時刻セット状態のとき、Ⓐボタンを押すごとにサマータイム（＋１時間、“DST”マーク点灯）と通常の時刻とが切り替わります。サマータイムとするときは“DST”が点灯している時刻にしてください。
※DSTとはDaylight　Saving　Timeの略です。
(5)セットが終わったら（どの箇所が点滅していても）、Ⓑボタンを押すと、アナログ部も修正され、セットモードに戻り、Ⓒボタンを押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。

●デジタル部をセットモード表示で点滅させたままにしておくと、２～３分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。
●カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

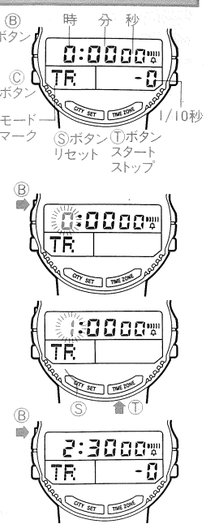
タイマーの使い方…操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは秒単位で最大24時間までセットでき、セット時間が経過すると10秒間電子ブザーが鳴ります。

●セットのしかた
(1)タイマーモードのときⒷボタンを押すと「時」が点滅します。
(2)Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順に移動します。



(3)点滅箇所がⓉボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓢボタンを押すごとに１つずつ戻ります。それぞれ、押し続けると早送りができます。
Ⓒボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓢ、Ⓣボタンで表示をセットするという操作を繰り返し行ない、時・分・秒を合わせてください。
※持ち時間を24時間にセットするときは表示を“0：00 00”にします。
(4)セットが終わりましたら、Ⓑボタンを押してセット完了です。



●計測のしかた
Ⓣボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を１／10秒単位で表示します。
※操作確認音が鳴ります。

●ロスタイムがある場合は
減算計測中、Ⓣボタンはスタート／ストップボタンとなり、減算計測をストップさせたりすることができます。

●繰り返し（リピート）計測…なんども同じ時間を計測する場合
タイムアップ後（残り時間０）電子ブザーが鳴り終わると、計測前にセットした時間を表示しますので、Ⓣボタンを押すとすぐに計測をスタートします。同じ時間を何回も計測するときに便利です。
計測の途中で最初からやり直すときは、Ⓣボタンを押して計測ストップ後、Ⓢボタンを押すと計測前にセットした時間を表示します。

●鳴っている電子ブザーを止めるには
鳴っている電子ブザーを止めるにはⒶⒸⓈⓉのいずれかのボタンを押します。

●タイマーセット状態で表示を点滅のままにしておくと、２～３分後自動的に点滅が止まります。

ストップウオッチの使い方…操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは１／100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測でき、以後自動的に０に戻って計測し続けます。

●計測のしかた
Ⓣボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。計測中Ⓢボタンを押すと表示は止まりますが内部では計測を続けるスプリット計測となります。（“SPL”表示）Ⓢ・Ⓣボタンとも押すと操作確認音が鳴ります。



（表示例：20時13分5秒08）

●通常の計測

Ⓣ スタート → Ⓣ ストップ → Ⓢ リセット

※積算計測…ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート（Ⓣボタンを押す）すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓣ スタート → Ⓢ スプリット計測 → Ⓢ スプリット解除 → Ⓣ ストップ → Ⓢ リセット

●１着・２着のタイム計測

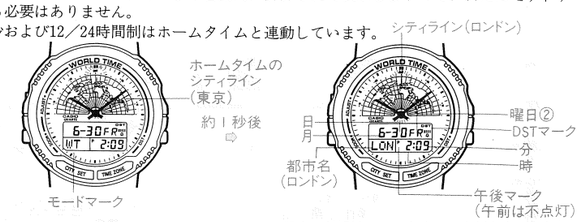
Ⓣ スタート → Ⓢ １着がゴール（１着タイム表示） → Ⓣ ２着がゴール → Ⓢ ２着タイム表示 → Ⓢ リセット

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±20秒以内
デジタル部表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：アナログ部…時・分（２針）
デジタル部…時刻表示＝時・分・秒・午前／午後
カレンダー表示＝月・日・曜日　フルオートカレンダー（1985～2029年）
ワンタッチシティリコール機能つき
ワールドタイム機能：世界29ゾーン（プリセット100都市、フリーセット29都市）の時刻を表示
シティライン、サマータイム表示
シティモード機能：29シティゾーンに各々１都市任意に都市コード名入力可能
ワールドタイムアラーム機能：時刻アラーム３つ　セット単位＝分　電子ブザー20秒間
セット内容＝時・分・都市コード　時報＝毎正時に２回電子ブザーで報時
タイマー機能：計測単位＝１／10秒　セット単位＝秒　電子ブザー10秒間
計測範囲＝24時間、計測機能＝通常計測、ロスタイム計測、リピート計測
ストップウオッチ機能：計測単位＝１／100秒　計測範囲＝23時間59分59秒99（24時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、１・２着同時計測
セット機能：時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能、（±30秒アジャスト）
アラームセット機能、ホームタイムセット機能、サマータイムセット機能
タイマーセット機能、ワールドタイム都市名セット機能
その他：自動復帰機能、モニターアラーム、12／24時間制表示切替え
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC／MOS－LSI
使用電池：SR－1120W（電池別途販売）
※電池はカシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。
電池寿命：約２年（１日当たり電子ブザーを20秒間使用した場合）

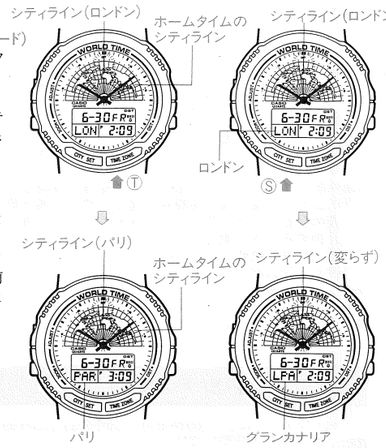
ワールドタイムの使い方…操作のしくみにしたがって©ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムは世界29タイムゾーン（プリセット100都市、フリーセット29都市）の標準時を内蔵し、各標準時ごとに都市コード名、時・分・秒、月・日、を表示します。
※プリセット都市は都市コード名一覧表に記載されている100都市でフリーセット都市は、“－－－－”と表示される、自由にアルファベット3文字で名前をつけられる都市コードです。
※時刻・月日はホームタイムより自動的に計算されて表示しますので、新たにセットする必要はありません。
※秒および12／24時間制はホームタイムと連動しています。



※シティラインとは同一時間帯の中にある主な都市を結んだ線であり、タイムゾーンではありません。

●都市のサーチ（ワールドタイムモード）



ワールドタイムモードでⓉボタンを押すごとに点滅したシティラインが右へ1つずつ移動し、Ⓢボタンを押すごとに同一シティライン上の都市がサーチできます。
そのとき、選んだ都市の月・日・曜日・時刻が表示されます。
※Ⓢ、Ⓣボタンは押し続けると早送りができます。
また、時刻・カレンダーモードよりモードを切り替えた直後は、前回ワールドタイムモードで最後にサーチした都市の標準時が表示されます。

●ワンタッチシティリコール機能（時刻・カレンダーモード）
時刻・カレンダーモードのときにⓉボタンを押すことにより、前回ワールドタイムモードで最後にサーチした都市の標準時を表示します。この機能により、よく使う都市の標準時をワンタッチで見ることができます。

（例）ホームタイムを東京からロンドンにする



●ワンタッチシティリコールの自動交換
ホームタイムをワンタッチシティリコール機能で使っている都市に変更すると、ホームタイムであった都市が自動的にワンタッチシティリコール機能で表示されます。

ワールドタイムモードで、Ⓑボタンを押すとホームタイムとワンタッチシティリコール機能で使っている都市とが入れ替わります。
このとき、アナログ部は新しいホームタイムの時刻に自動的になりますので、旅行先の現地時刻にアナログを合わせるときなど便利です。
なお、ホームタイム（含むアナログ部）を元の都市に戻すときは上記操作により、もう一度入れ替えます。



●サマータイムの設定
サマータイム（＋1時間）を設定するときは、都市サーチで設定したい都市を選び、Ⓐボタンを押すごとに“DST”マークが点灯・不点灯をくりかえします。“DST”マークが点灯するとサマータイムとなります。
※サマータイムは各都市ごとに設定できます。
※DSTとはDaylight Saving Timeの略です。
また、DSTの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご確認ください。
※ホームタイムをサマータイムに切り替えるときは、ワールドタイムモードまたはシティモードでホームタイムの都市を選びⒶボタンを押してサマータイムを設定するか時刻セット状態のときにⒶボタンを押してサマータイムを設定します。このときアナログ部も±1時間自動修正されます。

〈都市コード名一覧表〉

都市コード	都市名	時差
－－－	－－－－	－11
HNL －－－	ホノルル －－－－	－10
ANC －－－	アンカレジ －－－－	－9
LAX SEA SFO YVR －－－ LAS	ロサンゼルス シアトル サンフランシスコ バンクーバー －－－－ ラスベガス	－8
DEN YEG －－－	デンバー エドモントン －－－－	－7
CHI DFW GUA HOU MEX SJO －－－	シカゴ ダラス グアテマラシティー ヒューストン メキシコシティー サンホセ －－－－	－6
NYC PTY WAS YUL YYZ －－－ ATL BOG BOS DTT LIM MIA	ニューヨーク パナマシティー ワシントン モントリオール トロント －－－－ アトランタ ボゴタ ボストン デトロイト リマ マイアミ	－5
CCS LPB SCL －－－	カラカス ラパス サンティアゴ －－－－	－4
RIO SAO －－－ BUE MVD	リオデジャネイロ サンパウロ －－－－ ブエノスアイレス モンテビデオ	－3
－－－	－－－－	－2
－－－	－－－－	－1
LON LPA －－－ CAS EDI LIS	ロンドン グランカナリア －－－－ カサブランカ エディンバラ リスボン	±0
PAR ROM STO VIE ZRH －－－ AMS BCN BRU CPH FRA HAM MAD MIL MUC OSL	パリ ローマ ストックホルム ウィーン チューリッヒ －－－－ アムステルダム バルセロナ ブリュッセル コペンハーゲン フランクフルト ハンブルグ マドリード ミラノ ミュンヘン オスロ	＋1

都市コード	都市名	時差
CAI CPT DAM HEL IST －－－ ATH	カイロ ケープタウン ダマスカス ヘルシンキ イスタンブール －－－－ アテネ	＋2
MOW NBO －－－ ADD BAH BGW DOH JED KWI	モスクワ ナイロビ －－－－ アジスアベバ バーレーン バグダッド ドーハ ジェッダ クウェート	＋3
THR －－－	テヘラン －－－－	＋3.5
DXB MCT －－－	ドバイ マスカット －－－－	＋4
KBL －－－	カブール －－－－	＋4.5
KHI －－－	カラチ －－－－	＋5
DEL MAA －－－ BOM CCU	デリー マドラス －－－－ ボンベイ カルカッタ	＋5.5
DAC －－－	ダッカ －－－－	＋6
RGN －－－	ヤンゴン －－－－	＋6.5
BKK JKT －－－	バンコク ジャカルタ －－－－	＋7
HKG KUL MNL PEK PER SHA SIN TPE －－－	香港 クアラルンプール マニラ 北京 パース 上海 シンガポール 台北 －－－－	＋8
TYO －－－ FUK OSA SEL SPK	東京 －－－－ 福岡 大阪 ソウル 札幌	＋9
ADL －－－	アデレイド －－－－	＋9.5
SYD －－－ GUM MEL	シドニー －－－ グアム メルボルン	＋10
NOU －－－	ヌメア －－－－	＋11
AKL WLG －－－	オークランド ウェリントン －－－－	＋12

※この時差は1989年8月現在のものです。
※時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。
※＋6.5のような30分都市のシティラインは、＋30分した都市と同じになっています。
（例）テヘランは＋3.5時間の時差がありますが、＋4時間の時差があるドバイ・マスカットとシティラインは同じです。
時差は30分ずれています。
※都市コード“－－－－”はフリーセットコードで、自由にアルファベット3文字を入力することができます。（「シティモードの使い方」を参照してください。）

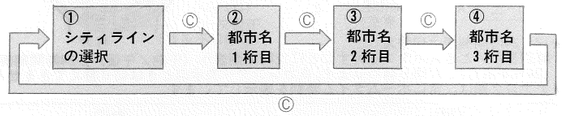
● 1991年7月現在、モスクワの時刻と世界標準時との時差が＋3時間から＋2時間に変更となっていることがわかりました。
モスクワの時刻をお知りになりたいときは、カイロ（CAI）と表示されているところの時刻をお読みください。
なお、お読みになるときは、サマータイム（DST）かどうかにご注意ください。モスクワのサマータイム実施時は、時差＋4時間から＋3時間になります。
また、モスクワ時刻を修正する場合は、下記の操作にしたがい、時差＋2の都市コード名にモスクワ(MOW)をセットし、時差＋3の“MOW”を他の都市コード名が表示するようにしてください。
★電池交換後は元の時差＋3に“MOW”と表示されますので、もう一度セットを行なってください。

シティモードの使い方…操作のしくみにしたがって©ボタンを押し、シティモードにします。

この機能は、初めからセットされている都市コード名（100都市）に加え、各シティラインで自分が使う任意の都市コード名を1つ（計29都市）入力することができます。
※都市コード表示が“－－－－”のところに任意都市名が入力できます。



●フリーセットコードの入力
(1)シティモードでⒷボタンを押すと、時刻が点滅し、都市コード表示が“－－－－”となります。
(2)©ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順に移動します。

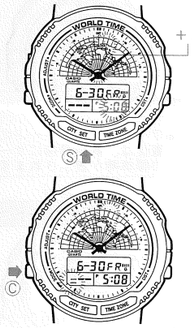


(3)シティラインはⓉボタンを押すごとに右回りに進み、Ⓢボタンを押すごとに左回りに戻りますので、セットしたいシティラインのゾーンを選びます。
※Ⓢ、Ⓣボタンは押し続けると早送りができます。

時刻が点滅しているとき、Ⓢボタンを押すごとにシティラインが1つずつ左にⓉボタンを押すごとにシティラインが1つずつ右に移動します。
※Ⓢ、Ⓣボタンは押し続けると早送りができます。

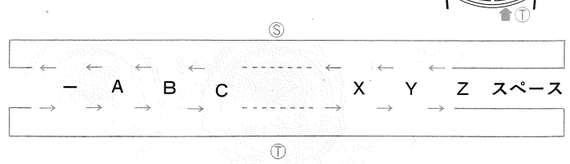


(4)入力したいシティラインが決まりましたら、©ボタンを押して都市名1桁目を点滅させます。点滅箇所がセット可能です。



(5)ⓈまたはⓉボタンを押すとアルファベットが以下の順で表示されますので、アルファベットを選びます。
※Ⓢ、Ⓣボタンは押し続けると早送りができます。





(6)都市名の入力が終わりましたら、Ⓑボタンを押すとセット完了です。



●シティモードで選んだ都市コード名の時刻が、ホームタイムと同じときは“ＤＳＴ”をＯＮ／ＯＦＦさせるとアナログ部も連動して、自動修正されます。
●シティモードセット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。
●一度入力した都市コード名を訂正または削除したいときは、上記操作にしたがい、都市コード名を変更するか“－－－－”にすると削除できます。

ワールドタイムアラームの使い方…操作のしくみにしたがって©ボタンを押し、ワールドタイムアラームモードにします。

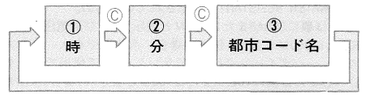
ワールドタイムアラームは分単位で時・分・都市コード名がセットでき、セットした都市コード名の時刻になると20秒間電子ブザーで知らせるアラームが3つあります。
なお、3つのアラームはいずれも同じ使い方ができ、同時に3つをセットすることができます。また、ホームタイムの毎正時（00分のとき）を“ピッピッ”と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。
※アラームは表示時刻ではなく、都市コード名で指定したワールドタイムの時刻（ＬＯＮのときはロンドンの時刻）になったとき、鳴ります。





●セットのしかた
(1)ワールドタイムアラームモードでⓈまたはⓉボタンを押して合わせたいアラーム番号（ＡＬ－１～３）を表示させます。

(2)Ⓑボタンを押すと「時」が点滅します。
(3)©ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。





(4)時・分はⓉボタンを押すごとに点滅箇所が1つずつ進み、Ⓢボタンを押すごとに点滅箇所が1つずつ戻ります。それぞれ、押し続けると早送りができます。
※「時」のセットの時午前（不点灯）／午後（Ｐ）にご注意ください。
※ホームタイムの時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻のセットも自動的に24時間制表示となります。



(5)都市コード名はⓉボタンを押してセットしたいシティラインを選び、Ⓢボタンを押して都市コード名を選びます。
※ホームタイムに合わせてアラームを鳴らしたいときは、都市コード名をホームタイムの都市コード名（東京ではＴＹＯ）に合わせます。



(6)セットが終わりましたら、Ⓑボタンを押してセット完了です。



●アラーム時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的にアラームモードの表示に戻ります。

●アラーム・時報のON／OFF
各アラーム表示（ＡＬ－１～３）、時報表示のとき、Ⓐボタンを押すごとに各アラーム表示（ＡＬ－１～３）のときはアラームONマーク( )が、時報表示のときは時報ONマーク（ ）が点灯・不点灯をくりかえします。各マークとも点灯しているときがONで、電子ブザーが鳴ります。



〈時報表示〉

●鳴っているブザーをとめるには
鳴っている電子ブザーをとめるにはⒶⓒⓈⓉのいずれかのボタンを押します。
●モニターアラーム
アラームモードでⓈまたはⓉボタンを1～2秒以上押し続けると、押している間電子ブザーが鳴ります。

カシオ計算機株式会社
RE03016210A